

1 議 事 日 程

[平成29年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成29年3月14日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第32号 平成29年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第33号 平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第34号 平成29年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第35号 平成29年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第36号 平成29年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第37号 平成29年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第7 議案第38号 平成29年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	藤 井 雅 之 議員
委員	堺 剛 議員	委員	船 越 隆 之 議員
〃	木 村 彰 人 議員	〃	森 田 正 嗣 議員
〃	有 吉 重 幸 議員	〃	入 江 寿 議員
〃	笠 利 毅 議員	〃	徳 永 洋 介 議員
〃	宮 原 伸 一 議員	〃	上 疆 議員
〃	神 武 綾 議員	〃	小 畠 真由美 議員
〃	陶 山 良 尚 議員	〃	長谷川 公 成 議員
〃	村 山 弘 行 議員	〃	橋 本 健 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（23名）

市長	芦 刈 茂	副市長	富 田 讓
教育長	木 村 甚 治	総務部長	石 田 宏 二
地域健康部長	友 田 浩	総務部理事 兼公共施設整備課長	原 口 信 行
建設経済部長	井 浦 真須己	市民福祉部長	濱 本 泰 裕
観光推進担当部長 兼観光経済課長 併農業委員会事務局長	藤 田 彰	教育部長	緒 方 扶 美
上下水道部長	今 村 巧 児	教育部理事	江 口 尋 信
総務課長 併選挙管理委員会書記長	田 中 縁	経営企画課長	山 浦 剛 志
防災安全課長	齋 藤 実貴男	人権政策課長兼 人権センター所長	福 嶋 浩
元気づくり課長	伊 藤 剛	納税課長	千 倉 憲 司

介護保険課長 平 田 良 富

国保年金課長 高 原 清

上下水道課長 古 賀 良 平

施 設 課 長 谷 崎 一 郎

監査委員事務局長 渡 辺 美知子

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（4名）

議会事務局長 阿 部 宏 亮

議 事 課 長 花 田 善 祐

書 記 山 浦 百合子

書 記 高 原 真理子

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の予算特別委員会を再開します。

防災安全課長。

○防災安全課長（齋藤実貴男） 予算書40から41ページ、一般会計歳入予算、1目総務費県補助金、性犯罪防止対策防犯カメラ設置支援事業補助金の交付期間についてご回答を申し上げます。

交付期間につきましては、平成28年度から平成30年度の3カ年になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですね。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第33号 平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） それでは、日程第2、議案第33号「平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

256ページ、1款総務費、1項1目一般管理費について、また同時に、2目団体負担金について質疑はございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねいたします。

257ページの002、13節ですか、委託料の中に給付事務電算委託料とありまして、2,146万円という数字が計上されておりますけれども、以前は8万7,000円ということでしたけれども、何かシステムが変わったということでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 皆さん、おはようございます。よろしく申し上げます。

今、委員さんお尋ねのこの金額については、平成29年度にシステム、これは全国の標準システムです。平成30年度から国民健康保険の制度改正に伴いましてシステムが全国標準システムが配付される予定になっております。その導入費用ということで、これだけ増額となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 同じく、細目002の賃金のところですけども、昨年からはほぼ倍増ぐらいになっているかと思うんですけども、説明いただければと。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） こちらの明細を申し上げます。

まず、窓口の嘱託職員ということで1名、それから国保年金課におきましては、国保年金係だけで育休職員が今現在3名いらっしゃいます。その3名分の嘱託職員の賃金ということです。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、1款総務費、2項徴税費、1目が、259ページまでですが、2項について質疑はございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3項運営協議会費について質疑はありせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款保険給付費、1項療養諸費、1目、ページめくっていただいて、5目の審査支払手数料までについて質疑はございせんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 療養諸費のほうですが、001、261ページになります。これは、負担金ということなんですけれども、一応前年度より1億4,261万円ほど減額になっております。これについて教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 2目の退職被保険者等療養給付費の1億4,261万円の減額ということではよろしいでしょうか。

○委員（森田正嗣委員） はい。

○国保年金課長（高原 清） はい。これにつきましては、平成27年度から制度が改正になりまして、新規のこの退職被保険者の適用はしませんよということになっております。したがって、平成27年度以降、毎年この対象者の被保険者が減っているような状況になりますので、それで、この減額ということになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款保険給付費、2項高額療養費、1目、2目、263ページ、4目まで質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 261ページの高額療養費についてお尋ねしたいんですが、これは6億2,000万円上がっていますが、昨年の実績に基づいてこういう予算計上されているのか。これ、個人だけの高額療養費、払戻金額だと思うんですけども、ご説明を詳しくちょっとお願いしたいと思います。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) こちらの高額療養費につきましては、個人被保険者の方に返還する分、それから限度額認定証を利用されまして、病院で負担されない分を保険者が後日医療機関等に支払う分等がございます。この分につきましては、一応一番増えた理由ですけれども、今現在、保険者、私どものほうで被保険者の方々に対しまして高額療養費の請求をまだされていらっしゃる方々に勧奨通知をしております。その分を時効が2年でありますので、その2年さかのぼって通知をしておりますが、その通知の対象者数を毎年どんどん、どんどん増やしているような状況でございます。その分で、今回、この分が増額ということになっております。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) 橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 参考までに、昨年度の実績というか、申請手続された方の人数は、大体どれぐらいいらっしゃるのか、教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) 申しわけありません。今手元に数値持っておりませんので、後ほど報告させていただきますので、ご了承願います。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

○委員(橋本 健委員) はい。

○委員長(門田直樹委員) ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款保険給付費の3項移送費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4項出産育児諸費について質疑はございませんか。

森田委員。

○委員(森田正嗣委員) お尋ねいたします。

この負担金ですけれども、001出産育児一時金ですが、これも1,000万円ほど増額になってお

りますけれども、これは、何か数字か何かの予定数としてこういうものがあるということでございでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） こちらにつきましては、平成28年度予算におきましても、12月補正で増額をお願いをいたしました。平成27年度が、実質74件の申請がありました。平成28年度につきましては、現時点ですけれども、見込みで110件ほどということで、相当伸びております。平成29年度の予算の積算根拠につきましては、過去の伸び等を考慮して、この金額を算出しております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款保険給付費の5項葬祭諸費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、ページをめくって、264ページ、3款後期高齢者支援金等、1項について質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 1目の後期高齢者支援金ですけれども、前年と比較してマイナスというふうになっていますけれども、12月議会におきまして保険税の改定で、この後期高齢者支援金の部分は引き上げという形が可決されていますけれども、予算編成に当たって、その辺はどういうふうに加味されているのか、お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） この後期高齢者支援金につきましては、国のほうから本年度分幾らということで支払い金額の通知がございます。それに対して、被保険者の皆様のほうから保険者が集めました保険税、そこから支払っているような状況でございますが、平成27年度の決算につきまして申し上げますと、この後期高齢者支援金につきましては、皆さんからいただいた保険税にプラスしてさらに1億円、一般財源を充てて支払っている状況でございます。端的に申し上げますと、1億円の赤字が現在出ているような状況でございます。そういう背景をもとに、平成29年度の税率改定ということとさせていただきます。平成29年度のこの予算につきましては、当然ながらこの税率をもとにして算出をしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○副委員長（藤井雅之委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款に入ります。前期高齢者納付金等1項1目、2目につ

いて質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5款老人保健拠出金、1項老人保健拠出金、1目、2目について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、266ページ、6款介護納付金について質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長(藤井雅之委員) じゃあ、介護納付金につきましても、前年とマイナスになっているのは、先ほど後期高齢者の支援金でご説明いただいた内容と同様として理解してよろしいでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) はい。委員さんのおっしゃるとおりです。介護納付金につきましては、国からの通知額が今のところ減額の方向で毎年来ておりますので、そのあたりを加味いたしまして、本年度、この数字で積算しております。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

それでは、7款共同事業拠出金、1項共同事業拠出金の1目から5目までございますが、質疑はございませんか。

森田委員。

○委員(森田正嗣委員) お尋ねいたします。

共同事業拠出金、細目001です。これも負担金でございますが、高額医療費の共同事業拠出金が1億1,438万円ほど上積みされておりますが、これをちょっと説明していただけないでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) まず、この共同事業拠出金でございますが、これは、県内の60市町村、保険者ですけれども、そちらのほうを支払う療養費、これは高額分ですけれども、それをまた再保険ということ、お互いに拠出、お金を出し合って、さらに支払った分にに応じて、また県内60市町村に配分をされるという再保険のシステムになっております。この金額、平成29年度のこの数字につきましては、国保連合会のほうから平成29年度の予算につきましては、この数字でということで、通知に基づいて計上をさせていただいているような状況でございます。一つ、前年度からこの大幅増ということで、その原因ということですが、やはり皆さんもご存じのとおり、高額薬剤の影響等があるのではなからうかなというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

それでは、8款保健事業費、これ、1項1目だけですね、269ページまで、質疑はございませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 特定健診のことですけれども、全体としては、金額が昨年とほぼ変わっていないので、市民の健康管理というような意味では増やしていく傾向にあるのかどうかということが1点質問と、あと、その中で、レセプトデータ分析等委託料というのが今年345万円ですか、入っていますけれども、これは何を目的に分析をされる予定なのか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） まず、この特定健診の方針等につきましては、先ほど委員さんおっしゃられたように、当然ながら保険者といたしましても、この特定健診受診率を上げていくということで方向性を持っております。ちなみに、本年度の予算がそれほど上がっていないという質問につきましては、内容等もう一度精査いたしまして、決算、今までの決算額をベースにしながら、もう一度積算し直しまして、より厳しくちょっと見積もったというような状況でございます。それが1点。

それから、レセプトデータ分析等委託料、前年に比べて大幅増ということですが、これにつきましては、データヘルス計画が平成27年度に策定いたしました。このデータヘルス計画につきましては、国の方向性で、指針で、3年ごとに見直しということになっておりますので、平成30年度が見直しということで、新たなこれまでのデータヘルス計画の実行の状況を分析いたしまして、さらに向こう3年の計画を策定すると。そのための委託料ということになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（笠利 毅委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、8款保健事業費の2項保健事業費、1目、2目、271ページまで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それじゃあ、9款基金積立金、1項1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、10款公債費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、11款諸支出金について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 最後、12款予備費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳出の審査を終わります。

次に、246ページ、歳入に入ります。

1款国民健康保険税、1項1目、2目について質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 国民健康保険税ですけれども、これも、前年と比較してマイナスになっていますけれども、この要因についてお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） こちらの一番の要因は、被保険者数の減でございます。12月議会で保険税の税率改定を議決いただきまして、平成29年度から税率改定ということで、その税率改定の分は積算の中に含んでおりますが、それ以上に被保険者の減というところで、こういう予算額が減になっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） その被保険者の減というのは、具体的にどれぐらいの数でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 今現在ですが、被保険者数が平成27年度末で1万6,737人ということで、現時点では1万6,200人ということで、約500人以上減になっております。平成29年度におきましても、この傾向は変わらないというところで見込んでおりますので、1万5,000人台に減るんではなかろうかなということで見込んでおります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 500人減のその減り方というのがどういうふうに分されているのか。例えば、仕事につかれて社会保険に移行する、あるいは、場合によっては生活保護のほうに移行するというところもあるかと思うんですけれども、その内訳までは分析されています。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 申しわけございません。その内訳まで、詳細まで分析はできておりません。ただ、一つ、短時間労働者の社会保険の適用が拡大されたところで、そういった影響もあるんじゃないかなと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○副委員長（藤井雅之委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、248ページ、2款国庫支出金、1項国庫負担金、3目まで質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、同じく2款2項国庫補助金について質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長(藤井雅之委員) 国の補助金に関しては、消費税増税の部分の例の3,400億円との関係で見通しが不透明になっている部分もあるという報道等も以前見聞きもしてはいたけれども、今回の算定に当たってその辺はどういうふうに組まれているのかお聞かせください。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) こちらの本年度のこの数字の積算につきましては、そのあたりは詳細については、まだこちらの保険者のほうには情報が入っておりませんので、想定ということではしております。ですから、その分は減額の分については対象としておりません。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) 藤井副委員長。

○副委員長(藤井雅之委員) 仮定の話ですけれども、そういった当初の見込みよりも国からの補助が少なくなった場合の対応策というのはどういうふうに今、考えておられますか。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) 具体的に決算に向けてどういう方向性というのは、現時点では具体的なところはございませんが、しかしながら、保険者として、当然ながらこの医療費の適正化というところは、今現在も、また今後も取り組んでいく必要があると思っております。したがって、もし国からの補助金等の減額等がございました場合は、やはり医療費の適正化等に保険者として取り組んでいかなければいけないというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) いいですか。

それでは、3款療養給付費交付金、1項1目、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4款前期高齢者交付金、これも1項1目、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、250ページ、5款県支出金、1項県負担金、1目、2目ありますが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、同じく5款2項県補助金について質疑はございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 県の補助金に関しては、例年あっております特々調のほう、そちらの今回見通しについてお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 特々調につきましては、今のところ平成28年度におきましても、太宰府市は対象ということで認定をしていただいております。また、具体的な金額というのはまだ確定をしておりますが、3月末までには確定する見込みでございます。平成29年度におきましては、この積算、数字の中には特々調は入れてございません。方向性としては、毎年ですが、この特々調はどうか、まだ不確定要素がございますので、積算の中には入れない方向で大体進んでおります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） わかればで結構ですけれども、高原課長も国保課長、在籍されて長いですから、その特々調の見通し、金額は、前年並みなのか、それとも微増ぐらいを見込んでおられるのか、今、課長の所見で結構です。お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 私、今年で2年目になりますが……。

申し上げますと、これ、私見になって申しわけないんですが、平成28年度から国が保険者努力支援制度という制度を新しく始めました。これ、何かといいますと、保険者として、先ほど私、医療費適正化等も申し上げましたけれども、国保税の徴収、どれだけ頑張っているか、医療費適正化にどれだけ頑張っているか、住民の特定健診にどれだけ頑張っているか、そういう保険者としてのどれだけ頑張っているかを、度合いを目安として、指標として交付金をやっついこうと、そういう制度でございます。この財源ですけれども、国はこの特別調整交付金のほうから間引きして、そこに充てていくという方針を出されていますので、当然ながらこの特別調整交付金の財源が減っていくと。ということであれば、平成28年度以降もですけれども、保険者への交付される特別調整交付金については減額になるのではないかなというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、6款共同事業交付金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7款財産収入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、252ページ、8款繰入金について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 委員長（門田直樹委員） それでは、9款繰越金について質疑はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、10款諸収入について質疑はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、254ページ、10款諸収入、2項1目から5目までございますが、質疑はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 以上で歳入の審査を終わります。
次に、242ページ、よろしいですか。第2表債務負担行為について質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは次に、274ページ、275ページの給与費明細書について質疑はありませんか。
藤井副委員長。
- 副委員長（藤井雅之委員） 職員手当の内訳のところ、時間外労働が前年と比較してプラス・マイナスがゼロなんですけれども、これはこういった形で計上といたしますか、されているのかお聞かせください。
- 委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。
- 国保年金課長（高原 清） これにつきましては、非常に財源といいますか、財政状況も厳しい折でございますので、前年度同額ということでさせていただきます。
以上でございます。
- 委員長（門田直樹委員） 藤井副委員長。
- 副委員長（藤井雅之委員） そういう算定の根拠というのがちょっとどうなのかというのが、必要な当然業務によっては残業等も、時間外の勤務というのも発生するんじゃないかなというふうに思うんですけれども、それを分析された上で、適正な数字といたしますか、そういった形をここには計上されておいたほうがいいのではないかとと思うんですけれども、それについてはいかがでしょう。
- 委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。
- 国保年金課長（高原 清） ありがとうございます。これにつきましては、また執行部の財政とか、総務のほうと、また協議しながら検討していきたいと思えます。
以上でございます。
- 委員長（門田直樹委員） よろしいですか。
- 副委員長（藤井雅之委員） はい。
- 委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは次に、276ページ、277ページの債務負担行為関係の調書につ

いて質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) いいですか。

それでは、歳入歳出全般について質疑はありませんか。

藤井副委員長。

○副委員長(藤井雅之委員) 済みません。ちょっと1点質疑漏れをいたしまして申しわけありません。

歳入のところの252ページです。10款1項の延滞金に関しまして、1目の一般保険者延滞金というのが、前年よりも比較すると伸びるということは、これは保険税引き上げの影響といたしますか、今年度も引き上げをされ、昨年12月議会でもまた支援金の部分の引き上げ等が2年連続でされておりますけれども、そういったことを加味して、今回、延滞金の部分はプラスというふうに算定されているのか、お聞かせください。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) この延滞金につきましては、まず、税率改定の影響ということで先ほどご質問ありましたけれども、平成29年度につきましては、確かに後期の分については引き上げになっておりますが、介護の分につきましては引き下げということで、初めて太宰府市としまして保険税の引き下げということを実行させていただきました。相殺しましても、若干ながら引き上げにはなっておりますが、この延滞金にその分が影響しているかということまでは私としては考えておりません。保険者としましては、この積算根拠といたしまして、これまでの延滞金の支払い状況とか今後の社会情勢等も含めて、このくらいの数字じゃないかなということ積算しております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) 藤井副委員長。

○副委員長(藤井雅之委員) 済みません。失礼しました。諸収入ということは、これだけ入ってくるというふうに、予算上はそういうことなんですよ。その見通しというか、要は延滞というのが、支払いが忘れられていたとか、そういうことでは当然、すぐ払われる方もできるでしょうけれども、大体延滞になっている方というのは、口座振替ではなくて、もう納付書を直接持っておられる方のほうが多いかな思うんですけども、それが増える見通しというのはどういふところにあるんでしょう。

○委員長(門田直樹委員) 納税課長。

○納税課長(千倉憲司) 延滞金についてお答えいたします。

予算上は870万円ほどということで計上させていただいておりますが、決算ベースでいきますと、平成27年度が1,200万円ほど延滞金が入っております。これは、税率改定等とは無関係で、例年このくらいは入ってくるというようなところで、予算の組み方として若干収入を上げさせていただいたというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 平成29年度予算案については、特に累積赤字についての歳出は余り載ってないんですけども、恐らく平成30年の福岡県の経営主体一本化に向けて、平成29年度、恐らく累積を赤字を解消するための予算が上がってくると思うんですけども、6月の充用、その他は一般会計からの繰り入れ、そこら辺の予定、計画についてお伺いしたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 平成30年度から都道府県との共同運営ということで制度が大幅に改正されます。したがって、太宰府市といたしましては、平成29年度までの決算の累積赤字につきましては、そこで一旦リセット、0円にいたしまして、新たな制度改正に臨みたいと考えております。平成28年12月議会におきましても、5億円の法定外繰り入れを議決をいただきましてありがとうございました。今後とも保険者といたしまして責任を持ってこの累積赤字の解消に努めていきたいと思っております。

今、委員さんからご質問のこの予算書上に赤字の解消に向けての数字等がないということで、これにつきましては、今までもそうですし、今後もそういう方向持っておりますけれども、決算の状況を見ながら、補正ということできさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算につきましては、12月議会におきまして反対をいたしました後期高齢者支援金と介護納付金部分の引き上げが前提とされました予算措置が組まれておりますので、12月議会で反対をいたしておりますので、その点につきまして、今回提案されております国保会計の新年度予算につきましては、同会派の神武委員とともに反対することを表明いたします。

○委員長（門田直樹委員） 賛成討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） ほかに討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第33号「平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(多数挙手)

○委員長(門田直樹委員) 多数挙手です。

よって、議案第33号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(原案可決 賛成15名、反対2名 午前10時29分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第34号 平成29年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長(門田直樹委員) 日程第3、議案第34号「平成29年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

288ページ、1款総務費、1項1目、2目、質疑はございませんか。

森田委員。

○委員(森田正嗣委員) お尋ねします。

細目001の負担金でございますが、後期高齢者医療広域連合負担金ということで4,000万円ほど前期よりも上がっておりますけれども、これの根拠を示してください。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) この後期高齢者医療広域連合負担金の内容でございますが、被保険者、75歳以上の市民の方々、こちらの被保険者からいただきました保険料を、こちらをそのまま広域連合のほうに納めるというものが1つ。それから、広域連合の事務費の太宰府市分の負担分というのが1つ。それから、保険料の軽減分に係る、これは国民健康保険にもございますが、基盤安定制度負担金、これが1つ。この3つから成っております。

この増額の一番大きな要因といたしましては、後期高齢者の被保険者の人数が毎年増えておりますので、保険料の増、その分がこちらのほうの増ということになっております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにごございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2項徴収費、1目ですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 290ページ、2款諸支出金、1項1目、2目について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3款予備費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) そして、以上で歳出の審査を終わります。

次に、284ページの歳入に入ります。

1款保険料、1項後期高齢者医療保険料、1目、2目について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款ですね。使用料及び手数料について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、3款繰入金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 4款諸収入について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 4款の今は1項ですね。

2項については質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) ページ、286ページで、同じく4款ですが、3項雑入について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5款繰越金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入の審査を終わります。

次に、292ページ、293ページの給与費明細書について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳入歳出全般について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第34号「平成29年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手です。

よって、議案第34号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(原案可決 賛成17名、反対0名 午前10時33分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 議案第35号 平成29年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長(門田直樹委員) 日程第4、議案第35号「平成29年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

まず、保険事業勘定の歳出、314ページです。よろしいですか。

1款総務費、1項1目一般管理費及び2目の連合会負担金について、質疑はございませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 315ページ、002庶務関係費の13委託料、介護保険事業計画等策定委託料、この内容についてお願いします。

○委員長(門田直樹委員) 介護保険課長。

○介護保険課長(平田良富) ご質問の介護保険事業計画等策定委託料につきましては、3年ごとの見直しであります。今度の第7期の介護保険事業計画の分でございます。これが、平成30年から平成32年までの計画の策定業務の、これ、債務負担で、平成28年もニーズ調査いたしましたけれども、いよいよ本格的な策定業務に入るということで、その分の金額を計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) いいですか。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2項徴収費についてが、1目、次の317ページまでです、2項について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3項介護認定審査会費、1目、2目までです。319ページまでですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4項趣旨普及費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 5項運営協議会費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款保険給付費、1項介護サービス等諸費、1目、2目、3、ずっといきますか。ページ、めくっていただいて、323ページ、10目までございますけれども、質疑はございませんか。

森田委員。

○委員(森田正嗣委員) お尋ねします。

319ページの001介護給付費、19の負担金で、介護報酬給付費が、居宅介護サービスの給付として出ておりますけれども、これが7,500万円ぐらい。それから、001の同じく一番下のほうになります。これは、介護報酬給付費というのが3,700万円。ああ、ごめんなさい。済みません。これは前年度との比較で増加しているということでございます。それから逆に、次の321ページのこれは5目の001介護給付費で、介護報酬給付費ですけれども、これが逆に3,964万円の減となっております。済みませんが、これについてちょっとご説明をお願いいたします。

○委員長(門田直樹委員) 介護保険課長。

○介護保険課長(平田良富) 2款1項介護サービス等諸費につきましては、要介護1から5の方の介護給付費でございます。全体的に予算組みいたしますときに、平成28年度の決算見込み、それから前年度の決算、その辺を勘案いたしまして、プラス・マイナスしておる次第でございます。そういうことで、そこそこの予算との比較になりますとこういうふうに出ますけれども、決算上では徐々に伸びているというふうな状況になります。そういう形で、ちょっと増えたり減ったりという形は、必ずここには出てくるものでございます。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

○委員(森田正嗣委員) はい、結構です。

○委員長(門田直樹委員) ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、322ページ、2款保険給付費、2項介護予防サービス等諸費ですが、これも1目から、ページめくっていただいて325ページの8目までございますが、質疑はございませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 1目の介護予防サービス給付費ですけれども、昨年から大幅に減額しているのは、恐らく地域事業費のほうにこの分が回ったというふうに考えていいかと思うんですけれども、一応確認のために。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 委員おっしゃったとおり、そのとおりでございます。ここが介護予防サービス等諸費につきましては、要支援の方の分の給付費でございます。今委員おっしゃいました1目のところが、まさに通所介護、それから訪問介護、この分が入っておりまして、その分の総合事業に移る分につきましては、地域支援事業費に移したということで、大幅な減額となっております次第でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（笠利 毅委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款保険給付費の3項その他諸費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じく2款の4項高額介護サービス等費、1目、2目について質疑はございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 済みません。325ページ、1目の高額介護サービス事業ですけれども、これが前年から比べますと3,200万円ほど増えております。この内容について教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） まさに決算状況でこの辺持ってくるんですけれども、一番この給付費の中で読みにくいといいますか、科目が、この高額サービス費でございます。前々年度、平成27年、低かったんですけれども、平成28年、大幅に伸びております。どの金額が適正か、予算計上するとき大変難しい問題がございますけれども、過去の経緯を調べて平均的な数値で上げましたところ、このような増額になっている次第でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今、過去の経緯でということがありましたけれども、ちょっとメモなどで正確じゃないかもしれませんが、昨年の予算は減らしていたんですよね。今年は大幅にというか、50%ぐらい増えたというのかな。過去の経緯って、本当にこういう、でこぼこ、でこぼこというふうに理解しといてよろしいんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） まさにそのとおりでございます。すごく波が激しい項目でございます。大変予算、ここ組みにくいところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（笠利 毅委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、326ページ、2款保険給付費の5項高額医療合算介護サービス等費、1目、2目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じく2款6項特定入所者介護サービス等費、1目から4目まで質疑はございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねします。

1目の特定入所者介護サービス費、これが昨年から比べますと2,400万円ほど減になっております。これについてはどういうことでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） ここについても、先ほどから申し上げている理由が一つと、もう一つは、これは、3施設と呼ばれます特別養護老人ホームとか老健施設等の食費と宿泊費の所得制限に応じた負担限度額減額というものでございまして、その辺が平成27年度改正で少し預金等が多い方については減額にならないという部分もありましたので、多少はその影響もあるということでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（森田正嗣委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、328ページ、3款地域支援事業費、1項介護予防・生活支援サービス事業費、1目、2目ございますが、質疑はございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） この1目、2目、新しい項目として起こされているようでございますけれども、これがいわゆる平成29年4月1日からの事業の部分でございましょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） はい、そのとおりでございます。これが総合事業、訪問介護、通所介護の部分でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） その点は先ほど私も聞いたところでそれはいいんですけども、シルバー人材センターの方を新しい総合事業の中で一つ予定しているものがあるというふうに説明を繰り返し聞いていますけれども、その予算というのは、この中でどこにあるのかをちょっと。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） このページ、329ページの一番上、001訪問型サービス事業費の13節委託料の訪問型サービスA事業委託料400万円、こちらに該当いたします。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 年間400万円ということで、どういう聞き方をすればいいのかははっきりわからないんですけども、どの程度の事業量というか、事業というのを見込んでこういう計算になっているのかを。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 今現在もシルバーセンターさんが家事援助というのをやっておりますけれども、対応してある人数は少のうございます。うちのほうでも、どの程度そちらで賄っていただけるか不明確な部分がございますけれども、希望としてこのくらい見ていただけないかという数字で上げておりますけれども、全くここもまだ向こうの人員も確定しておりませんので、不明確な数字ではございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 参考までに、現行の家事援助活動の実績、例えば年額およそどれぐらいとか、そういうのをもしこの場で言えるのであれば。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 現行のシルバーさんの家事援助の金額ということでよろしいでしょうか。

○委員（笠利 毅委員） はい。

○介護保険課長（平田良富） 現行、私、今ちょっと資料ないんですけども、時間1,000円は切っていたと思います。900円弱だったと認識しております。

以上でございます。

○委員（笠利 毅委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 訪問介護サービス、今の笠利委員の続きになると思いますけれども、訪問型サービスAのところシルバー人材センターが今のところ1カ所の予定で、恐らく今後、

ここの部分をちょっと増やしていかないといけないかなというのは予測されていると思うんですけども、今、検討されているところは幾つかあるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 現在のところは、現時点ではございませんけれども、いずれにしろ平成30年度からは、緩和されたサービスということで、訪問サービス事業Aについては、既存の事業者のほうにご協力いただきたいと思いますと考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） じゃ、今の事業者に対して平成30年度からお願いする件については、もうお話は始まっているということですか。平成29年度から始めるということでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 平成29年度からこの事業、総合事業始める前に、太宰府市の方向性を事業者の方々にご説明はいたしました。ただ、実際、具体的に平成30年度からどの程度の緩和をやって、どの程度の金額でやっていただくという具体的なものは、これから協議ということになります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） ちょっともう一点。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） それと、ボランティアの方が担うようなことにもなってくるとは思うんですけども、そこの部分の研修とかというようなことは、今、平成29年度中には考えていらっしゃるでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） それがサービス、専門的に言いますとB事業というんですけども、まだそこまでは平成29年度、入るということは想定しておりません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 確認ですけれども、研修の今、予定もされてないということでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 今、研修の予定しているのが、このシルバーさんをお願いする分については、3月中に研修というのは予定をしておりますけれども、ボランティアさんの部分が、家事支援とかということについては、まだ体制も整っておりませんので、研修とかもまだ予定はしておりません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページの3款地域支援事業費の2項一般介護予防事業費、1目までですが、331ページまで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同じく3款3項包括的支援事業・任意事業費、ページがずつといきまして、まず、1目について質疑はございませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねいたします。

333ページの004ですが、生活支援体制整備事業費、これが今、課長がおっしゃっていた体制整備かなと思っておりますが、これは、中身的にはマネージャーといえますか、そういう方を委託して事業を始めるということでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） はい、委員おっしゃったとおりでございます。ここに委託料を上げております。生活支援体制整備事業委託料、中身は生活支援コーディネーターの配置ということを考えておりまして、現段階では、社会福祉協議会さんと協議を進めている段階でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 333ページ、003認知症総合支援事業費の委託料、認知症初期集中支援チーム運営委託料、この内容についてお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 認知症総合支援事業の中にこの認知症初期集中支援チームを設置しなければならないというものがございまして、これがどこでもできるわけじゃなく、専門医がいらっしゃるところということで、この辺では牧病院、牧先生ということになっておりまして、昨年9月から委託を始めまして2年目の委託料を計上しているということでございます。ここには、チームとして牧先生、それから医療系、それから福祉系、3名の方で対応していただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目任意事業費は、ページが337ページまでですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

それでは、同じく3款4項その他諸費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

今度は4款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、1目、2目について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 同じく4款2項繰出金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) ページめくって、338ページ、5款基金積立金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、6款予備費について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、以上で歳出の審査を終わります。

次に、306ページ、よろしいですか、歳入に入ります。

1款保険料、1項1目第1号被保険者保険料について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款使用料及び手数料について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3款国庫支出金、1項国庫負担金、1目介護保険費負担金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、同じく3款2項国庫補助金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 4款支払基金交付金、1項支払基金交付金、1目、2目、ページが309ページまでですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5款県支出金の1項県負担金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2項県補助金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（門田直樹委員） それでは、6款財産収入、1項財産運用収入、1目までですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7款繰入金、1項一般会計繰入金、1から4目、5目までです。311ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7款繰入金の2項基金繰入金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同款3項介護サービス事業勘定繰入金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、8款繰越金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9款諸収入、1項延滞金・加算金及び過料について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2項の預金利子、313ページまでですが、2項についての質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同款3項雑入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入の審査を終わります。

次に、介護サービス事業勘定について、歳入歳出一括して質疑を行います。

事項別明細書の348ページ、歳入及び350ページからの歳出について、おわかりですね、質疑はありませんか、一括質疑ということで。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいね。

それでは次に、301ページ、戻りますが、301ページの第3表債務負担行為について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、保険事業勘定、介護サービス事業勘定の歳入歳出全般について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出予算の質疑を終わります。

次に、340ページ及び341ページの給与費明細書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、342ページ、343ページの債務負担行為関係の調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第35号「平成29年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手です。

よって、議案第35号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(原案可決 賛成17名、反対0名 午前10時56分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

国保年金課長。

○国保年金課長(高原 清) 先ほど国民健康保険事業特別会計におきましてご質問がありました高額療養費の申請件数についてご報告をさせていただきたいと思います。

平成27年度の申請件数が649件に対しまして、本年度、平成28年度、本日までに申請されている分が1,905件でございます。

以上でございます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第36号 平成29年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長(門田直樹委員) 日程第5、議案第36号「平成29年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

362ページ及び363ページの1款総務費、2款公債費、3款基金積立金について質疑はありま

せんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳出の審査を終わります。

次に、358ページ、歳入に入ります。

1 款県支出金、1 項 1 目住宅新築資金等補助金について質疑はありませんか。

藤井副委員長。

○副委員長(藤井雅之委員) 1 目の県からの補助金、計上が4,000円ということですが、

この前年よりも減っている理由についてお聞かせください。

○委員長(門田直樹委員) 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長(福嶋 浩) これは、公債費の償還に関する利子の県の補給金という補助金になりますので、公債費が減ったから、借金が減ったから減ったということになります。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

それでは、2 款財産収入について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3 款繰入金の 1 項一般会計繰入金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3 款の廃項についての質疑はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 4 款繰越金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 5 款償還金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) ページは261ページの5 目までですが、よろしいですね。

以上で歳入の審査を終わります。

次に、364ページの給与費明細書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、365ページの地方債に関する調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳入歳出全般について質疑はありませんか。

藤井副委員長。

○副委員長(藤井雅之委員) 全般ということですが、審査資料を出していただきましたの

で、追加資料の16ページで質問させていただきますが、現在の滞納状況一覧をつくって出していただいていますけれども、今、提案されております新年度予算において、この滞納の状況を具体的にどこまで整理するといいますか、そういった目標というのは定められているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（福嶋 浩） 住宅新築の貸し付けの滞納者につきましては、これまでもご報告しておりますとおり、非常に生活困窮といいますか、厳しい状況にある方が残っているということになりますので、それを平成29年度で償還するというふうな方向性では考えておりません。ただ、いろいろな法的な整理を行って、県の補助金であるとか、そういうのを利用しながらということを考えております。平成28年度につきましても、県の助成金を受けましたので、2件、この書類でいいますと9番と14番の方が県の補助金を受けましたので、大体1,500万円ぐらいの補助金を受けておりますので、そういう方向性で今後とも整理をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございますか、質疑は。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第36号「平成29年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手です。

よって、議案第36号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成17名、反対0名 午前11時01分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

ここで11時15分まで休憩します。

休憩 午前11時01分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時15分

○委員長（門田直樹委員） それでは、再開いたします。

日程第6 議案第37号 平成29年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第6、議案第37号「平成29年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

ページ順に審査を行います。

まず、1ページ及び2ページについて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、4ページから8ページまでの収益的収入及び支出について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 7ページなんですけれども、委託料、ペットボトル製造委託料ってあるんですけれども、たしか過去に何か太宰府の水みたいなんですというふうなお話だったんですけれども、今これ、継続されてつくってあるん、大体年間何本ぐらいつくってあるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） おはようございます。よろしくお願いいたします。

私のほうからご説明をいたします。

ペットボトルは、平成28年度の予算からしておりまして、平成28年度につきましては、よりよいデザインにしようと思ひまして、デザイン等に時間をかけたことによりまして、今月中の完成の予定となっております。完成した折には、市民へ配布する前に議員の皆様にご報告、お披露目をしたいと考えております。予定本数といたしましては、一応平成28年度におきましても平成29年度におきましても2,000本ということで考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） これ、配布だけで、売り出したりって、そういうことは考えてないんですよね。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 今のところ配布用として考えておりますので、売買は考えておりません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

藤井副委員長。

○副委員長（藤井雅之委員） 今の関連というか続きになりますけれども、製造された後の水の管理と申しますか、この会計上では何か商品とかそういう部分の管理として扱われるのか、それ

とも、もうこっちの会計のほうにはそれは載らないのか、どういうふうになりますか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 会計上は、一応普及促進用という形で配布していくような形になりますので、この分に関しては消耗品というような形になりますので、あれ上は載らないという形になります。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは次に、9ページと10ページの資本的収入及び支出について質疑はありませんか。
笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 9ページの国庫補助金のほうのところなんですけれども、生活基盤施設耐震化等交付金というの、何だろうと思ってちょっと調べたんですけれども、都道府県が受け取るというふうに書いてあるところと、あと実際に市が受け取って報告書まで書いているようなところとちょっと見かけたんですけれども、太宰府市がこれをどういう形で受けて、何をしようとしているのかをちょっと教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 施設課長。

○施設課長（谷崎一郎） 私のほうからお答えいたします。

この国庫補助金につきましては、4分の1相当額です。場所については、梅香苑の基幹管路の整備を行います。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 私が見たときに、何か事業評価というのを簡単なものですが出さようになってきているような感じだったんですけども、実際そういうふうになるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 施設課長。

○施設課長（谷崎一郎） こちらについては、やはり重要な施設でございます。南小学校、一応南小学校を目標としまして、そちらに安定した水を送るということで、評価については最終的に5年間かけてやりますので、最終的な事業評価については出てくると思います。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにご覧いませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 10ページ、工事請負費、配水管新設工事について、これ、先日ご説明があったかと思うんですけれども、かなり重要な管路の新設と思われますので、改めてちょっと詳しいお話をお聞きしたいんですけれども。

○委員長（門田直樹委員） 施設課長。

○施設課長（谷崎一郎） こちらについては、五条の大体どんかん道に第6次拡張工事の基幹管路が入っております。こちらから太宰府南小学校までを結ぶ基幹管路の工事でございます。今年

度については、梅香苑第2公園から交差点までの260mを考えております。

ルートについては、西鉄の推進工事、国道3号線の歩道の埋設、梅香苑についてはメインのバス通りについて入れる予定でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） ちょっと関連して。この配水管路を入れることによって南小学校区まで安定的な送水が可能ということですが、もうちょっと具体的に。これ、大きな工事なんですけれども、どういう効果があるのか、もうちょっと詳しくご説明いただきたい。

○委員長（門田直樹委員） 施設課長。

○施設課長（谷崎一郎） 高雄、梅香苑地区については、現在、東ヶ丘配水池から送水しております。東ヶ丘配水池については、五条中継ポンプ場を経由しておりますので、停電等になったときに全断水というふうなことが考えられます。この基幹管路については、自然流下で一応南小学校まで送る計画でございます。ですから、停電等、それから地震等で東ヶ丘配水池にもし何か漏水等があったとしても、こちらの耐震化によって南小学校までは送水できるという考えでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 今の説明、よくわかりました。その下の配水管布設替工事のほうなんですけれども、こちらのほうは多分老朽管の布設がえだと思われま。各地区、布設がえがいっぱい起こっているんですけれども、こちらのほう、老朽管の布設がえについて、どういうお考えで布設がえを計画的に進めてらっしゃるのかをちょっとお聞きしたかったんですけれども。

○委員長（門田直樹委員） 施設課長。

○施設課長（谷崎一郎） 老朽管の更新につきましては、平成29年度は梅香苑、同じ基幹管路の場所と一緒に布設がえする予定をしております。なぜ梅香苑が老朽化しているかと申しますと、以前の開発団地で昔の井戸管が残っております。井戸管については、鋼管でありましてかなりの脆弱化と申しますか、少しでも扱えば赤水が出るような状態になっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 今、梅香苑あたりは一緒に工事しているということで、非常に合理的な工事だと思いますけれども、市内全体で、それこそ老朽管から新しい管までいっぱいあるんですけれども、市内全体の布設がえ計画を持たなきゃいけないと思うんですけれども、こちらのほうは公共施設等総合管理計画の中では、水道、下水道というのはそこまで入っていましたでしょうか。逆にそれは水道、下水道は企業会計のほうで考えるべきことなんではないでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） ちょっと木村委員。もともとご専門じゃけ詳しいのはよくわかるけれども、そこまでいくのは、もう一般質問でされたらどうかなと思うんだけどね。整備計画まで話が進んでいきよるところもあるし。ここだけは、この資料をもとに、ここだけの確認をしたいということなら続けてください。今聞いたようなことをずっと進めるかな。

○委員（木村彰人委員） いや、そうしたらちょっとまとめて。

○委員長（門田直樹委員） まとめて質問してください。

○委員（木村彰人委員） 毎年、布設がえが上がりてくるんですけども、一定計画に基づいて、それこそ優先順位をつけてやられるべきと、やってらっしゃると思うんですけども、それだけお答えください。

○委員長（門田直樹委員） 施設課長。

○施設課長（谷崎一郎） 老朽管に関しましては、下水道工事で水道管に当たった部分の団地については布設がえしてきております。今残っていますのが、この梅香苑団地、それから都府楼団地、大佐野台という団地がございますけれども、こちらについては下水道管を既設管を使っておりますので、そのときに昔の井戸水管が残ったままになっていますので、都府楼団地については、もう既に今年で整備が終わります。今回、梅香苑団地を改修しますと、次は大佐野台というふうに考えております。あとは、最終的な金額等は、最終的なアセットマネジメントとなりますので、それについて計画を作成したいと思っています。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは次に、11ページの水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、12ページから14ページまでの給与費明細書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、15ページの債務負担行為に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、16ページから18ページまでの平成28年度水道事業予定損益計算書、水道事業予定貸借対照表について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

次に、19ページから21ページまでの平成29年度水道事業予定損益計算書、水道事業予定貸借対照表について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、22、23ページの注記について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第37号「平成29年度太宰府市水道事業会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手です。

よって、議案第37号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成17名、反対0名 午前11時26分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第7 議案第38号 平成29年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第7、議案第38号「平成29年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

ページ順に審査を行います。

まず、1ページ及び……これについても初日の特別予算で、いや、傍聴の方もおられるので少し説明しますと、詳細な説明はもう一応受けてはおりますが、その後、委員のほうでいろいろまた調べて、疑問等ございましょうと思いますので、進めます。

1、2ページについてはよろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、4ページから7ページまでの収益的収入及び支出について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは次に、8ページから10ページまでの資本的収入及び支出について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、11ページの下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは次に、12ページから14ページまでの給与費明細書について質

疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、15ページの債務負担行為に関する調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは次に、16ページから18ページまでの平成28年度下水道事業予定損益計算書、下水道事業予定貸借対照表について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、19ページから21ページまでの平成29年度下水道事業予定損益計算書、下水道事業予定貸借対照表について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、22ページ、23ページの注記について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第38号「平成29年度太宰府市下水道事業会計予算について」、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手です。

よって、議案第38号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成17名、反対0名 午前11時28分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

これで予算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(門田直樹委員) ここでお諮りします。

本委員会における審査内容と結果の報告につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) ご異議なしと認め、委員会の審査内容と結果の報告につきましては、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして予算特別委員会を閉会します。

閉会 午前11時29分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

平成29年5月18日

太宰府市予算特別委員会委員長 門 田 直 樹